

市営住宅入居者募集

住宅名	所在地	戸数	単身可	区分	築年度
三野芝生第二北団地B	芝生	1		公	S54
池田州津B団地	州津	1		公	S54
池田板野団地	イタノ	1		公	S53
池田新山団地	シンヤマ	1		公	S56
池田中西A団地	中西	1	○	公	S49
山城下川団地	下川	1		公	S52
山城西宇1号団地	西宇	1		公	H3
山城永美団地	下川	3	○	特	H7
山城伊予川団地	信正	1	○	特	H9
西祖谷一宇団地	一宇	3	○	公	S60
西祖谷一宇第2団地	一宇	1	○	特	H8
西祖谷西岡団地	西岡	1	○	特	S62
西祖谷第2西岡団地	西岡	6	○	公	H4
西祖谷榎団地	榎	3	○	特	S53
西祖谷榎団地	榎	2	○	公	S53
西祖谷秘境ふるさと団地	一宇	5	○	貸	H13
東祖谷和田第1団地	和田	5	○	公	S53
東祖谷和田第2団地	和田	2	○	公	H8
東祖谷檉尾団地	檉尾	1	○	公	S54
東祖谷名頃団地	菅生	1	○	公	S53
東祖谷名頃団地	菅生	1	○	特	S53
東祖谷落合第2団地	落合	2	○	公	S53

公=公営住宅 特=特定公共賃貸住宅 貸=貸付住宅 改=改良住宅
市営住宅募集情報は市ホームページにも掲載しています

入居希望者は12月26日(月)17時15分までに必要書類をご持参のうえ、お申し込みください。

■ お申込みできる方

①現在、同居か同居しようとする親族がある方 ②現に住宅に困っていることが明らかな方 ③税金・水道・保育料等の公共料金を滞納していない方 ④所得が所定の基準に該当する方⑤申込者または同居親族が暴力団員でない方

■ 公営住宅の所得基準

入居世帯の所得合計が月額15万8千円以下であること。ただし次の場合は所得合計が月額21万4千円以下であれば入居可能です。①高齢者世帯(入居申込者が60歳以上で同居しようとする親族全員が18歳未満または60歳以上)②障害者世帯(入居者または同居者が、障害者・戦傷病者・被爆者・引揚者等)③子育て世帯(同居者に小学校就学前の子供のいる世帯)

■ 特定公共賃貸住宅の所得基準

入居世帯の所得合計が月額15万8千円以上48万7千円以下※上記の所得基準に当てはまらない方でも入居可能な場合がありますので、お問い合わせください。

■ 貸付住宅の所得基準

入居世帯の所得基準なし

■ お申し込み・お問い合わせ先

池田地区	三好市管理課	(電話 72-7681)
三野地区	三野総合支所	(電話 77-4804)
井川地区	井川総合支所	(電話 78-5001)
山城地区	山城総合支所	(電話 86-1111)
西祖谷地区	西祖谷総合支所	(電話 87-2273)
東祖谷地区	東祖谷出張所	(電話 88-2896)

陸上自衛隊第14旅団より 三好市に感謝状をいただきました

東日本大震災における災害派遣活動への支援・協力に対して、陸上自衛隊第14旅団から感謝状をいただきました。11月6日に善通寺駐屯地で行われた第14旅団5周年および駐屯地開設61周年記念式典において贈呈式が行われ、俵市長が第14旅団長井上武氏から感謝状を受け取りました。



出発前の 準備が大切

準備不足が
事故・渋滞
になる恐れがあります

冬用タイヤへの交換・タイヤチェーンの携行など、冬期の運転準備は万全に!

携帯電話で道路情報をチェック
(四国地区の道路情報が確認できます)



■ QRコードでアクセス
(DoCoMo・au・SoftBank 共通)



■ パソコンでもご利用いただけます

四国道路情報 検索

お問い合わせ先

国土交通省池田国道維持出張所
(電話 72-2177)

いざという時のために備えよう — 防災

災害時の要援護者支援のあり方を考える

近年、災害による被災は65歳以上の高齢者や障害者などの要援護者が多くを占め、災害時の要援護者支援は非常に重要です。三好市においても、10月28日、三好市保健センターで災害時要援護者支援研修会を開催しました。山口大学大学院准教授 瀧本浩一氏から「地域防災の考え方」について講演をいただいた後、参加者全員で災害図上訓練DIGを実施しました。これは、自分たちの住んでいる地域の地図をもとに起こりうる災害像をより具体的にイメージするワークショップで、参加された方は「災害に備えてどういう取り組みが必要なのかがよく理解できた。今後、地域で取り組んでいきたい」と話していました。



夜間避難を想定したフィールドワークを実施

県立池田高校は普段、教育機関として活動していますが、大災害発生時には地域住民の避難場所としての役割もあります。今回、池田高校定時制では東日本大震災をきっかけに防災について取り組むことになり、11月1日と2日、防災講演と夜間避難を想定したフィールドワークを実施しました。

フィールドワークでは、生徒と教員が5班に分かれて、避難ルートの確認など与えられたテーマで避難者の立場になって校地・校内を歩き、危険箇所や改善すべき課題を洗い出し、避難所としての機能を確認しました。今回の成果は、災害時の避難誘導や避難所運営マニュアル作成に向けての資料として活用し、安全、安心なまちづくりに役立てます。



三野地区で防災訓練を実施

11月3日に紅葉温泉および特別養護老人ホーム長生園で三野町消防団による防災訓練が実施されました。午前中は長生園の入所者を避難所に搬送する訓練が行われ、午後からは山林火災を想定し、防災ヘリによる消火作業や、全分団がポンプを連結し消火訓練を行いました。また、一般の方には起震車による地震体験や模擬消火器による消火訓練が行われ、参加者全員の防災意識の向上につながりました。



備蓄用飲料水の寄付をいただきました

サントリー食品インターナショナル株式会社から、災害時の備えとして、備蓄用飲料水500mlペットボトル24,192本分を11月14日にご寄付いただきました。

三好市では、災害などが発生した際に市民へ提供する飲料水として活用するため、市内の防災倉庫および各総合支所などへ配備させていただきました。

